

阪急茨木駅西口→竹田駅→草津パーキング → 宮町遺跡(宮殿跡)→甲賀寺跡→
(昼食、紫香樂焼の店駐車場)→和東安積親王陵→ 恭仁宮跡→竹田→ 阪急茨木駅解散

朱雀門方面



宮町遺跡(紫香樂宮、内裏跡)
多量の木簡が出土
1音を漢字1字で表す万葉仮名で墨書



紫香樂宮址(甲賀寺跡)



難波津に
咲くや木の花
冬こもり
今は春べと
咲くや木の花
(かるた競技の序歌)

安積山
影さへ見ゆる
山の井の
浅き心を
我が思はなくに
巻16-3807



史跡紫香樂宮跡寺院跡(内裏野地区)説明板

金堂跡

中門跡

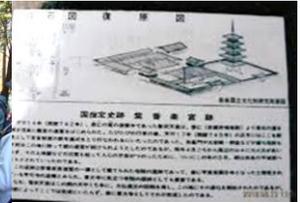
金堂跡の紫香樂宮(聖武天皇を祀る?)



内裏野地区(甲賀寺)で聖武天皇は盧舎那仏建立を目指した



講堂跡



国指定史跡紫香樂宮跡
甲賀寺の礎石図と復元図
金堂を中心に塔や講堂を
回廊が囲む

愛しきかも
皇子の命の
あり通ひ
見しし活道の
道は荒れにけり
大伴家持
巻3-479



我が大君
天知らさむと
思はねば
凡にそ見ける
和東山
大伴家持
巻3-476



安積親王和東陵

活道の岡に登って
一株の松の下で
宴をした時の歌
(活道の岡は
恭仁京、和束付近
という以外不明)

一つ松
幾代か経ぬる
吹く風の
音の清きは
年深みかも
市原王
巻6-1042



安積親王陵から和束の眺め



史跡 恭仁京跡
(山城国分寺跡)



塔跡の東側は コスモスが満開

七重塔の心礎 ↑ 塔の礎石は17個中15個が残る

恭仁京大極殿址(金堂跡)碑

大極殿基壇南下の恭仁小学校は
歴史を感じさせる木造校舎



山城国分寺金堂跡(恭仁宮大極殿址)
大極殿跡碑の北側、恭仁京跡として保存 コスモス

階段を10段ほど登る 基壇

今造る
久邇の都は
山川の
さやけき見れば
うべ知らすらし
大伴家持
巻6-1037

泉川
行く瀬の水の
絶えげこそ
大宮所
うつろひ行かめ
田辺福麻呂
巻6-1054

鹿背の山
木立を茂み
朝さらす
来鳴き響もす
鶯の聲
田辺福麻呂
巻6-1057



恭仁宮大極殿礎石

